

学校教育目標

仲間と共に、明るく健康に自らを高めていく子ども

育てたい生徒の姿

- 自らの進路や将来の生活について考え、実現に向けて行動する生徒
- 自他を理解し、社会や集団の一員としての自覚を高める生徒
- 体力の向上に努め、健康で安全に日々の生活を送ることができる生徒

項目	実践事項・努力事項	年間計画
●学習指導 (含、自立活動、 情報教育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な見え方や実態、進路希望に応じた教育課程を用意する。</li> <li>・見え方に応じた学習環境の整備、視覚情報を補う教材教具、操作体験的な活動の充実を図り、理解が深まるようにする。</li> <li>・定期考査に加え、模擬試験の機会を設け、進路選択に向けて自己の学力や課題を把握できるようにする。</li> <li>・校外学習や実習等、社会と関わる、接する場を多く設け、社会性を身に付けることができるようにする。</li> <li>・現在及び将来の生活や進路を見通し、学習方法や移動技術、日常生活動作、デジタル機器の活用、学習の補完、心理的な安定等について、自立活動の指導の充実を図る。</li> <li>・総合的な探究の時間で、自らの進路に向けて課題解決的な活動を設定したり、校内実習や職場実習等で実際的に学習する場を設定したりして、進路実現に向けた活動の充実を図る。</li> </ul>	定期考査：年間4回 模擬試験：随時 春季及び秋季校内実習・職場実習： 6・9月（予定） 自立活動の指導： 毎週1～8時間程度 総合的な探究の時間： 年間35時間 個別活動報告会：12月
●生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動の中でマナーやコミュニケーション能力、助け合いの心を養う。</li> <li>・担任等との面談や自立活動の時間を利用し、悩みや不安を把握し、解消に努める。スクールカウンセラー等の助言を受けながら指導の方向性を決める。</li> <li>・学校行事や他校との交流活動など、同世代の多様な価値観や考え方に触れる機会を設定する。</li> <li>・SNSの利用のルールやマナーについて、学級等で指導したり、警察署等外部機関を利用した講習会を設定したりする。</li> </ul>	スクールカウンセラー：毎月希望者のみ 交流活動：7～9月
●進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路ガイダンスや進路講演会、個別活動報告会などにより、広く進路情報を入手する場を設定し、意欲を高められるようにする。</li> <li>・総合的な探究の時間での学習、適性や希望を踏まえ、面談等で自己決定の場を設ける。</li> <li>・施設見学や職場実習の機会を設け、本人と保護者の希望を第一に卒業後の進路を決定する。</li> </ul>	進路ガイダンス：6月 進路講演会：7～9月 進路マナー講習会： 9月
●保健 給食指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の見え方や眼疾を理解し、健康・安全に留意しながら学校生活を送ることができるように指導する。</li> <li>・自立して安全に移動できるように環境を整える。</li> <li>・体育の中で体力や各種運動機能の向上に努める。</li> <li>・適切な衣服管理、食事のマナーが身に付けられるように、自立活動や給食の場面など、実際の場面の中で指導する。</li> </ul>	自立活動や給食時など 随時
●保護者、 関係機関 との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通知表や個別の指導計画を通じて定期的に学習の成果を伝える。</li> <li>・面談等で保護者の意向を十分に聞き取り、学校生活や進路について丁寧に説明しながら取り組みを進める。</li> <li>・学級通信や連絡帳などで、日常の様子を伝える。</li> <li>・医療機関や各種サービス機関等と連携を密に取る。</li> </ul>	個別の教育支援計画： 10月及び3月を基本とし随時更新。 個別の指導計画：10月、 3月に確認。

